

円借款案件【事後モニタリング】 結果表

国名	ペルー
案件名	イキトス下水道整備事業

I. 案件概要

(1) L/A 承諾額	66.60 億円
(2) L/A 調印日	2008 年 12 月 4 日
(3) 実施機関	ロレト州政府生産性インフラ公共機構（OPIPP）
(4) 事業概要	アマゾン地方の主要都市であるロレト州イキトスにおいて下水道施設の整備を行うことにより、下水を適切に処理するとともに同地域における下水道の普及を図り、もって同地域の住民の衛生状態、生活環境の改善に寄与するもの。

II. レビュー/モニタリング結果

(1) 事後評価における課題・指摘の概要	・ 2016 年 7 月以降、下水処理場は稼働を停止しており、下水道接続率が低いままで下水は未処理状態が続いている。 ・ 施設の劣化を防ぐために最低限の稼働（定期的な試運転、自然流下の流量での下水処理施設の稼働）が望ましいため、施設の稼働状況のモニタリング、加えて再稼働に向けた OPIPP、運営・維持管理を担うロレト州上下水道公社（SEDALORETO）等の関係機関への働きかけを継続することが望ましい。
(2) 対応結果/今後の対応方針/事業目標の達成見込み	・ 本事業を完成させることを目的として、イキトス下水処理施設の修復及び運営維持管理に対する民間セクターからの提案を募集する大統領令が公布（2019 年 5 月）され、2019 年 8 月に官民連携方式にかかる公示がなされたものの、応札者がなく流札となった。2023 年 3 月現在再稼働には至っておらず、上下水道セクターの所掌官庁である住宅建設衛生省は再度、新たな官民連携方式による施設の現状調査を行っている。これを受け、国家投資促進庁（Proinversion）は PPP 組成に先立つ準備の一環として、2024 年 5 月に同調査を担うコンサルタントと契約した。同調査は施設の稼働に向けた解決策を検討するものである。 ・ 本事業は完済に伴い JICA は借入人に対し債権債務関係を有さないため JICA による関与には限りがある。可能な範囲で JICA はペルー政府において進められている再稼働に向けた取組等を確認していく。
(3) 教訓	我が国や他国の有償資金協力による下水道整備事業を初めて実施する地方政府機関などの事業実施機関が大規模な事業を行う場合、貸付契約等に基づき、事業実施機関から提出される事業進捗報告書や施工監理コンサルタントに対するモニタリング等を通して、施設の稼働状況や不具合の有無等について定期的な確認を行う。